

2024 年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生募集要項
日本語・日本文化研修留学生（神戸大学）（大学推薦）

文部科学省（MEXT）は、日本の大学に日本語・日本文化研修留学生として留学したい留学生に次のような奨学金（2024 年度日本政府（文部科学省）奨学金）を提供しています。

I。資格と条件

- | | |
|------------|---|
| (1) 対象 | 1.日本語、日本情勢、日本文化への理解を深めるために、留学生として来日する者。 2.神戸大学と学術協定を結んでいる大学から推薦される者。 |
| (2) 国籍 | 日本政府と国交のある国の国籍を有すること。申請時に日本国籍を有する者は、原則として募集の対象とならない。ただし、申請時に日本以外に生活拠点を持つ日本国籍を有する二重国籍者に限り、渡日時（受入大学における学籍等発生時）までに外国の国籍を選択し、日本国籍を離脱する予定者は対象とする。 |
| (3) 年齢 | 1994 年 4 月 2 日から 2006 年 4 月 1 日までの間に出生した者。例外は国籍国の制度・事情（兵役義務・戦乱による教育機会の喪失等）により資格年齢時に応募できなかった者と文部科学省が判断した場合に限られる。個人的事情（経済状況、家族の事情、健康状態、大学又は勤務先の都合等）は一切認めない。 |
| (4) 学歴 | 応募者は、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。 ①渡日及び帰国時点で、日本語や日本文化に関連する分野を主専攻とする外国（外国）大学の学部生である者。なお、日本語・日本文化に関する分野以外を主専攻とする者で、学習の一環として日本の諸事情（工学・経済・農学・建築・美術等）を学習する者は対象としない。 ②2024 年 9 月 1 日現在において、大学での日本語・日本文化学習期間が通算 1 年以上の者。（別の大学での日本語・日本文化学習歴を合わせて日本語・日本文化学習期間が通算 1 年を満たす者は、必ず、日本語・日本文化学習期間が 1 年以上であることを証明できる書類（別の大学で履修した成績証明書等）を提出すること。） |
| (5) 日本語能力 | 神戸大学で日本語を学ぶために必要な日本語能力を持っていること。 日本語能力試験（JLPT）のレベル N2 以上に合格していること。 |
| (6) 健康 | 日本留学について心身ともに支障がないこと。 |
| (7) 日本への到着 | 原則として、研修コースの始まる 2 週間前からコース開始日までのうち、受入大学の指定する期日（原則として 9 月又は 10 月）に渡日可能な者。 |

やむを得ない事情があると文部科学省が判断した場合を除き、指定された期間最終日までに渡日できない場合は採用を辞退すること。また、自己の都合により、上記の所定の期間外に渡日する場合は、渡日旅費を支給しない。

- (8) ビザの取得 渡日前に原則として国籍国所在の在外公館で「留学」の査証を新規取得し、新規に取得した「留学」の在留資格で入国すること。そのため、既に他の在留資格（「永住者」「定住者」等）を有している場合であっても「留学」の査証を新規取得し、渡日する必要がある。なお、国費外国人留学生の身分終了後に改めて「永住者」又は「定住者」の在留資格を申請しても当然には認定されない可能性があることを理解すること。

新規に「留学」の査証を取得せずに渡日した場合は、奨学金の支給停止となるので注意すること。

- (9) 次に掲げる事項に一つでも該当する者については対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。

- ① 現役軍人又は軍属の資格の者。
- ② 文部科学省又は受入大学の指定する期日までに渡日できない者。
- ③ 過去に日本政府(文部科学省)奨学金留学生であった者(学籍発生後辞退者を含む)。
なお、文部科学省学習奨励費(MEXT Honors Scholarship)は日本政府(文部科学省)奨学金留学生にあたらないため、過去に受給歴があっても応募可能。
- ④ 日本政府(文部科学省)奨学金制度による他の2024年度奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者。
- ⑤ 申請時に日本に滞在している者。
- ⑥ 奨学金支給期間開始後に日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関を含む)から奨学金を受給することを予定している者。
- ⑦ 申請時に二重国籍者で、渡日時(受入大学における学籍等発生時)までに日本国籍を離脱したことを証明できない者。
- ⑧ 日本入国後、在留資格を「留学」以外に変更した者。

- (10) 奨学金支給期間終了後の帰国・復学 奨学金支給期間終了月内に帰国し、渡日時点で在籍していた外国の大学の学部へ復学の上、引き続き日本語・日本文化の学習を続けることが確実な者。ただし、2024年度募集者より、復学後もダブル・ディグリー・プログラム、ジョイント・ディグリー・プログラムへの参加等の手段により日本国内において学修を続けることが可能である場合には必ずしも帰国を要しない。上記の条件が履行されなかった場合は、支給開始時に遡及して奨学金の全額返納を命じることがある。

- (11) 日本留学中、日本の国際化に資する人材として、広く地域の学校や地域の活動に参加することで、自国と日本との相互理解に貢献するとともに、修了後も留学した大学と緊密な連携を保ち、修了後のアンケート調査等にも協力する他、帰国後は在外公館等が実施する各事業に協力することで、自国と日本との架け橋となる意思のある者を求む。

II. 奨学金の期間

期間は、学習コースを完了するために必要な期間であり、2024 年 10 月（または学習コースの開始月）から 11 か月である。 期間の延長は認められない。

III. 奨学金のメリット

(1) 手当

月額 117,000 円が支給される。特定の地域において修学・研究する者には、月額 2,000 円又は 3,000 円を月額単価に加算される。なお、日本政府の予算状況により各年度で金額は変更される場合がある。大学を休学又は長期に欠席した場合、その期間の奨学金は支給されない。

(2) 旅費

① 渡日旅費

文部科学省は、原則として旅行日程及び経路を指定して航空券を交付する。航空券は、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港（原則、国籍国内）から受入大学が通常の経路として日本国内で使用する国際空港までの下級航空券とする。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とする。また、(a)国籍国に在外公館が所在していない場合及び、国籍国に所在する日本の在外公館が一時閉館している等の理由により、査証申請のため第三国へ立ち寄り渡日する者又は(b)国籍国から日本への直行便がない者については、立ち寄り国内の旅費、宿泊費等は自己負担とし、国籍国から立ち寄り国までの航空券並びに立ち寄り国から受入大学が通常の経路として日本国内で使用する国際空港までの下級航空券のみを文部科学省が交付する。「留学生の居住地」は原則として申請書に記載された「現住所」とするが、渡日前に国籍国内で転居する場合は、申請書「渡日前住所」欄に記載された住所を「居住地」として認め、最寄りの国際空港からの航空券を手配する。なお、査証申請のための第三国立ち寄りを除き、自己都合により国籍国外から渡日する

場合は航空券を交付しない。また、自己の都合により上記「1.(7) 日本への到着」に定める所定の期間外に渡日する場合は、渡日旅費を支給しない。

② 帰国旅費

文部科学省は、原則として研修コースを修了し、上記「II. 奨学金の期間」に定める奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生に対し、本人の申請に基づき航空券を交付する。航空券は、受入大学が通常の経路として使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港（原則、国籍国内）までの下級航空券とする。帰国する留学生の日本での居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とする。なお、自己都合及び下記「IV. 奨学金支給停止事項」の事由により奨学金支給期間終了月より前に帰国する場合は帰国旅費を支給しない。

また、奨学金支給期間終了月内に帰国せず、又は同月内に帰国しても渡日時点で在籍していた外国の大学の学部へ復学しない場合、帰国旅費は原則支給しない。なお、2024 年度募集者より、適切な在留資格を得ることを前提に、復学後もダブル・ディグリー・プログラム、ジョイント・ディグリー・プログラムへの参加等の手段により日本国内において学修を続けることが可能である場合には必ずしも帰国を要しないこととしているが、その場合は帰国旅費を支給しない。

(3) 授業料および その他の費用

大学への入学検定料、入学科、授業料は受入大学が負担します。

IV. 奨学金支給停止事項

次の場合には、文部科学省は奨学金の支給を取り止める。また、これらに該当した場合、それまで支給した奨学金の一部又は全ての返納を命じることがある。なお、処分が決定されるまでの間、奨学金の支給を止めることもある。

- ①申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。
- ②文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
- ③日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
- ④大学における学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。
- ⑤ 申請時に既に在留資格「留学」で日本の大学等に在籍している者及び自国における本奨学金への申請時から奨学金支給期間開始前に私費外国人留学生として日本の大学等に在籍、

又は在籍予定の者。ただし、日本の大学等に在籍又は在籍予定の私費外国人留学生であっても、奨学金支給期間開始前に修了し帰国することが申請時において確実で、在留資格「留学」を新規取得し渡日する者はこの限りではない。

- ⑥大学において学業成績不良や停学、休学等により受入大学の研修コースを奨学金支給期間終了月までに修了することが不可能であることが確定したとき。
- ⑦「留学」の在留資格を新たに取得せずに渡日したとき又は「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
- ⑧他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く。）の支給を受けたとき。
- ⑨奨学金支給期間終了月内で帰国し、渡日時時点で在籍していた外国（日本国以外）の大学の学部へ復学しなかったとき。（適切な在留資格を得ることを前提に、復学後もダブル・ディグリー・プログラム、ジョイント・ディグリー・プログラムへの参加等の手段により日本国内において学習を続ける場合は除く）

V. 選考と合格発表

- (1) 神戸大学では、提出された書類を審査し、2024 年 4 月中旬に推薦のあった大学に選考結果を通知します。
- (2) 文部科学省は、神戸大学が推薦する志願者の最終選考試験を実施し、2024 年 6 月に各大学に選考結果を通知します。

VI. 提出する書類

- (1) 申込書（両面印刷）
- (2) 過去 6 ヶ月以内に撮影された写真またはデジタル画像（サイズ 4.5×3.5cm、上半身、フルフェイス、帽子なし）（申込書に貼り付け）
- (3) 申請者の国のパスポート、戸籍、または市民権証明書のコピー
- (4) 在籍中の大学に関する在籍証明書
- (5) 在籍大学（在学年次までの全学年）の学業成績証明書（日本語と日本文化に関連する科目に印を付けてください）。
- (6) 在籍大学の学長または学術顧問からの推薦状（神戸大学学長 藤澤正人宛てのもの）
- (7) 申請者が 1 年以上日本語を勉強したことを証明する書類。（現在の大学で合計 1 年以上日本語を勉強したことを確認できない方のみ。）
- (8) 申請者が資格を持っている場合、日本語能力試験の証明書
- (9) 申請者が資格を持っている場合、英語能力証明書

※原則として、すべての書類は日本語または英語で作成する必要があります。

VII. 締め切りと申請書類の送付先

- (1) 締め切り 2024 年 3 月 15 日までに到着する必要があります
- (2) 送信先 Student Affairs Section, Graduate School of Intercultural Studies, Kobe University
gicls-kyomugakusei@office.kobe-u.ac.jp
Address: 1-2-1 Tsurukabuto, Nada-ku, Kobe, 657-8501 JAPAN
TEL: + (81)-78-803-7530

VIII. 注意点

- (1) 申請書類に改ざんがあった場合は、入国許可を取り消すことがあります。
- (2) いかなる理由があっても、すべての申請書が返却されるわけではありません。
- (3) 神戸大学は学生寮のシングルルームを提供します。夫婦や家族のための部屋はありません。
- (4) 留学中の方は、現在、申請者の母国の空港を出発する必要があります。
- (5) 渡日後、奨学金を受給するまでに 1 か月～1 か月半程度必要なため、当座の生活資金として、さしあたり必要となる費用を最低 2,000 米ドル程度用意することが望ましい。
- (6) 健康診断書の取得等により、結核等の感染症に罹患していることが判明した場合は、渡日時期までに必ず治療しておいてください。渡日時期までに完治していない場合、渡日は認められません。

APPLICATION GUIDELINES JAPANESE GOVERNMENT (MONBUKAGAKUSHO: MEXT) SCHOLARSHIP FOR 2024 WITH KOBE UNIVERSITY RECOMMENDATION (JAPANESE STUDIES STUDENTS)

The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) offers scholarships to international students who wish to study at Japanese universities as a Japanese Studies student under the Japanese Government (MEXT) Scholarship Program for 2024 as follows.

I. QUALIFICATIONS AND CONDITIONS

- | | |
|--------------------------------|---|
| (1) Eligibility | 1. Applicants must come to Japan as international students in order to deepen their understanding of the Japanese language, Japanese affairs and Japanese culture. 2. Applicants must be recommended by universities which have academic agreements with Kobe University. |
| (2) Nationality: | Applicants must have the nationality of a country that has diplomatic relations with Japan. An applicant who has Japanese nationality at the time of application is not eligible. However, persons with dual nationality who hold Japanese nationality and whose place of residence at the time of application is outside Japan are eligible to apply as long as they choose the nationality of the foreign country and give up their Japanese nationality by the date of their arrival in Japan (the acquisition of student status). |
| (3) Age: | Applicants, in principle, must be born between April 2, 1994 and April 1, 2006. Exceptions are limited to only those applicants deemed by MEXT to have been unable to apply within the period of age eligibility due to the system or circumstances (loss of educational opportunities due to military service obligation, war, etc.) in the country of nationality. Under no circumstances will exceptions be made for personal reasons (financial, family, health, university, employment situation, etc.) |
| (4) Academic Background: | Applicants must satisfy the following two conditions. ① Applicants must be undergraduates at foreign (non-Japanese) universities majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture at the time of arriving in and leaving Japan. Therefore, those who are majoring in fields of study other than Japanese language and culture and pursuing complementary studies on Japan (such as engineering, economics, agricultural science, architecture, and art) are ineligible. ② Those who have studied Japanese language or Japanese culture at a university for a total period of at least one year as of September 2024. Those who have studied Japanese at multiple universities should submit certification (transcript of grades at other universities etc.) that can verify that the applicant studied Japanese for a total period of at least one year. |
| (5) Japanese Language Ability: | Applicants must possess the Japanese language ability necessary to complete a course of study in Japanese at Kobe University. This means that you have passed N2 or higher in the JLPT. |
| (6) Health: | Applicants must be free from any mental or physical disabilities that would impede the pursuit of study at a Japanese university. |
| (7) Arrival in Japan: | Applicants must be able to arrive in Japan within two weeks before the first day of the course set by the university in Japan (usually September or October) on the date set by the admitting university. (If the applicant arrives in Japan before this period for personal reasons, travel expenses to Japan will not be paid. Excluding cases of unavoidable circumstances, if the applicant cannot arrive in Japan during the designated period, the applicant must withdraw from the program.) |
| (8) Visa acquisition: | An applicant shall, in principle, newly obtain a "Student" visa at the Japanese diplomatic mission located in the applicant's country of nationality, and enter Japan with the newly obtained status of residence "Student." Accordingly, even if the applicant already has another status of residence ("Permanent resident," "Long-term resident," etc.), the applicant must newly obtain a "Student" visa and re-enter Japan. The applicant should be aware that the original status of residence of "Permanent resident" or "Long-term resident" might not necessarily be granted after the expiration |

of the status as a MEXT Scholarship student. In case the applicant comes to Japan without newly obtaining the “Student” visa, the payment of the scholarship will be suspended.

- (9) Any applicant who meets any or all of the following conditions is not eligible. If identified after the start of the scholarship period, the applicant will be required to withdraw from the scholarship.
1. Those who are military personnel or military civilian employees;
 2. Those who are unable to come to Japan on the date designated by MEXT or their host institution;
 3. Those who have received a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past (including those who withdraw from the scholarship program after the acquisition of student status);
 4. Those who make a double application to any of the other Japanese Government (MEXT) Scholarship programs (Research Students Program, Undergraduate Student Program, Specialized Training College Students Program etc.);
 5. Those who are resident in Japan at the time of application;
 6. Recipients of scholarships from institutions other than MEXT (including government institutions in their home countries) that overlap with the Japanese Government Scholarship (Prospective beneficiaries are included);
 7. Holders of dual nationality at the time of application who cannot verify that they will give up Japanese nationality by the time of their arrival in Japan (the acquisition of student status);
 8. Those who change their residence status to that of other than “Student” after their arrival in Japan;
- (10) Return home and school: Applicants must make assurances that they return to their home country by the end of the final month of the scholarship period and continue to study Japanese language and culture at an undergraduate program of the institution in which applicants were enrolled at the time of the arrival in Japan. However, if they can keep taking the course of their institution whilst staying in Japan, for example, by participating in a Double-Degree program or Joint-Degree program with their institution's partner universities in Japan, they don't necessarily have to return to their home country. If the applicant does not satisfy these conditions, they may be ordered to return the entire amount of the scholarship paid during the scholarship period.
- (11) The applicant shall make efforts to promote relations between the home country and Japan by maintaining close relations with the university attended after graduation, cooperating with the conducting of surveys and questionnaires after the return home, and cooperating with all relevant projects and events conducted by Japanese diplomatic missions in the applicant's country.

II. DURATION OF SCHOLARSHIP

The duration is the period necessary to complete the admitting university's study course, which should be within 11 months from October 2024 (or the starting month for the study course). Extension of the period is prohibited.

III. SCHOLARSHIP BENEFITS

- (1) Allowance: 117,000 yen per month will be paid. A supplemental regional allowance of 2,000 or 3,000 yen per month will be added to the monthly scholarship amount for the grantees studying or conducting research in specially designated regions. Due to the situation of the Japanese Government's budget, the amount of payment may be subject to change each fiscal year. If a grantee is absent from the university for an extended period, the scholarship shall be suspended for that period.
- (2) Transportation:
- ① Transportation to Japan MEXT stipulates the travel schedule and route, and provides an economy-class airline ticket for the flight from the international airport closest to the recipient's residence (in principle, the country of nationality) to an international airport in Japan used on the normal route to the accepting university. The recipient shall bear at his/her own expense all costs related to domestic travel from the recipient's residence to the nearest international airport, airport taxes, airport usage fees, special taxes necessary for travel, travel expenses within Japan (including airline transit costs), travel insurance expenses, carry-on luggage or unaccompanied baggage expenses, etc. The recipient shall also bear their own expenses for travel and lodging incurred in a third country (a) if the recipient has to travel to a third country before coming to Japan for visa purposes because there are no Japanese diplomatic missions in his/her country or because

Japanese diplomatic missions in their home country are temporally closed, or (b) if there are no direct flights from the recipient's country of nationality to Japan. In such cases, MEXT will provide an economy-class airline ticket from the recipient's home country of nationality to the said third country, and from the third country to an international airport in Japan used on the normal route to the accepting university. In principle, the address given in the space for "Current address" on the application form shall be recognized as the "residence," (If the recipient plans to move within his/her country of nationality after application, the address given in the space for "Your address before departure for Japan" on the application form shall be recognized as the "residence".), and the airline ticket will be arranged for a flight from the international airport nearest to that address. Except for cases when the recipient must travel to a third country to obtain a visa, MEXT will not provide an airline ticket for cases of travel to Japan from a country other than the recipient's country of nationality due to the recipient's personal circumstances. Moreover, if, due to the recipient's personal circumstances, the recipient comes to Japan outside of the fixed period stipulated in 1. (7) "Arrival in Japan" above, travel expenses will not be provided. Based on the application by the recipient, MEXT will provide an airline ticket to recipients who shall complete the study course at the accepting university and return to the home country by the end of the final month of the scholarship period (See "II. DURATION OF SCHOLARSHIP") designated by MEXT. MEXT, in principle, shall provide an economy-class airline ticket from an international airport in Japan used for the normal route to and from the accepting university to the international airport (in principle, in the country of nationality) nearest to the returning recipient's residence. The travel schedule change or route change is not allowed after provision of airline ticket. The recipient shall bear at his/her own expense all costs related to travel from the recipient's residence in Japan to the nearest international airport, airport taxes, airport usage fees, special taxes necessary for travel, travel expenses within the country of nationality (including airline transit costs), travel insurance expenses, carry-on luggage or unaccompanied baggage expenses, etc. If a recipient returns to the home country before the end of the scholarship period due to personal circumstances, or reasons stated in "IV. SUSPENSION OF PAYMENT OF SCHOLARSHIP", MEXT will not pay for the returning travel expenses.

② Transportation from Japan

If a recipient will also not return to his/her home country by the end of the final month of the scholarship period or will not resume his/her studies at the undergraduate program of the home institution in which he/she was enrolled at the time of the arrival in Japan, MEXT will not pay for the returning travel expenses. If the recipients can keep taking the course of their institution whilst staying in Japan, for example, by participating in a Double-Degree program or Joint-Degree program with their institution's partner universities in Japan and obtain an appropriate residence status, they don't necessarily have to return to their home country, and MEXT will not pay for the travel expenses for returning home.

(3) Tuition and Other Fees:

Fees for the entrance examination, matriculation, and tuition at universities will be paid by the accepting university.

IV. SUSPENSION OF PAYMENT OF SCHOLARSHIP

The scholarship will be also cancelled in principle in the following situations. If the recipient has been receiving the scholarship despite his/her falling under any of the following situations, the recipient will be ordered to return the amount of scholarship that they received during the period wherein he/she was involved with any of the following situations.

1. The recipient is determined to have made a false statement on his/her application;
2. The recipient violates any article of his/her pledge to the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology;
3. The recipient violates any Japanese laws and is sentenced to imprisonment with or without hard labor, for life or for a period exceeding 1 year;
4. The recipient is subjected to disciplinary action by the university, including expulsion;
5. Recipients who are already enrolled in a Japanese university or other institution with a residence status of "Student," or who are going to be enrolled, or plan to enroll, in a Japanese university or other institution as a privately-financed international student from the time of application to the MEXT scholarship program in the applicant's country until the commencement of the period for payment of the MEXT scholarship. However, this stipulation does not apply to privately-financed international students who, even though they are enrolled, or are planning to enroll, in a Japanese

university or other institution, verifiably complete their studies before the start of the scholarship payment period, return to their home country at the time of the scholarship application, and newly acquire the “Student” residence status and come to Japan;

6. It has been determined that it will be impossible for the recipient to complete the training course within the standard time period because of poor academic grades or suspension from the university;
7. The recipient’s residence status has changed to one other than Student as defined in the Appended Table I-4 of the Immigration Act;
8. The recipient has received a scholarship from another institution (excluding those specified for research expenditures).
9. The recipient has not returned to his/her home country and has not continued to study at his/her institution immediately after the end of the scholarship period. (excluding cases when the recipients can keep taking the course of their institution whilst staying in Japan, for example, by participating in a Double-Degree program or Joint-Degree program with their institution’s partner universities in Japan and obtain an appropriate residence status).

V. SELECTION AND ANNOUNCEMENT

- (1) Kobe University will carry out a screening of applicants by means of a review of the following documents and inform each university of the selection result around the middle of April, 2024.
- (2) MEXT will implement a final screening examination for applicants recommended by Kobe University and select the scholarship recipients and inform each university of the selection result in June, 2024.

VI. DOCUMENTS TO BE SUBMITTED

- (1) Application form (double-sided printing)
 - (2) Photograph or digital image (size 4.5 × 3.5 cm, upper half of body, full-faced, hatless) taken within the past 6 months (pasted on the application forms)
 - (3) Copy of passport, family register or certificate of citizenship of the applicant’s country
 - (4) Certificate of university enrollment
 - (5) Certified academic transcripts for all years from the university the applicant is currently attending (please mark subjects related to Japanese language and Japanese culture).
 - (6) Recommendation letter from the head of or academic advisor at the university the applicant is currently attending to the President of Kobe University (Prof. FUJISAWA Masato)
 - (7) Documents verifying that the applicant has studied the Japanese language for at least one year. (Only for those who cannot verify that they studied Japanese for a total of at least one year at their current university.)
 - (8) Documented proof of Japanese-language ability
 - (9) Documented proof of English-language ability if the applicant has qualifications
- *In principle, all documents must be written either in Japanese or English

VII. DEADLINE AND WHERE TO SEND APPLICATION DOCUMENTS

- | | |
|-------------------|--|
| (1) Deadline | Must arrive by 15 March 2024 |
| (2) Where to send | Student Affairs Section, Graduate School of Intercultural Studies, Kobe University gicls-kyomugakusei@office.kobe-u.ac.jp Address: 1-2-1 Tsurukabuto, Nada-ku, Kobe, 657-8501 JAPAN TEL: + (81)-78-803-7530 |

VIII. NOTES

- (1) If falsification is found in the application document, the entrance permission may be withdrawn.
- (2) All applications will not be returned for any reason.
- (3) Kobe University will provide a single room at a dormitory. Rooms for married couples or families are **not provided**.
- (4) Those who have been studying abroad currently have to depart from an airport in the applicant’s home country.
- (5) As the first installment of the scholarship payment will not be made from one month to one and a half months after the recipient’s arrival in Japan, the recipient is recommended to bring at least approximately US\$2,000 with him/her to Japan to cover immediate living expenses and other necessary expenses.
- (6) Recipients who have tested positive for infectious diseases including tuberculosis following a medical exam must be treated before arrival in Japan. Recipient’s arrival in Japan will not be approved if he/she is not fully recovered by the time of arrival.